

平成30年1月9日(火)



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市



十年後を想像して、今実行する

校長 上田 祥市

平成30年(2018年)が始まりました。皆さま、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りします。

昨年未本校ではインフルエンザの流行で学年・学級閉鎖となりましたが、今日の始業式ではお休みも少なく、元気な笑顔の子供たちと再会し、大変うれしく思いました。まだまだこれから流行の時期は続きますから、日々の体調管理に努め、元気な体と心で三学期を過ごしてほしいと思います。

さて、皆さんは明治34年(1901年)の新聞に掲載された未来予測記事のことをご存知でしょうか。以前国語の教科書に載せられていた「百年前の未来予測」(横田純彌)という説明文もこの記事を基に書かれたものです。そこには、23の項目で未来を予測していますが、驚くほど当たっているものが多いのです。無線電信や電話で世界がつながることや遠距離での写真送付(FAXやインターネット)、自動車の世の中、暑さ寒さ知らず(エアコンの普及)、7日間世界一周(航空機利用)等々技術の進化を予想しているものがあります。一方で野獣の滅亡や蚊や蚤の滅亡など当たらなかったものもありますが、それもいずれそうなるかも知れない状況があります。明治の人たちの想像力には、頭が下がる思いです。

しかし、今は明治時代では想像もできないくらいにコンピューターによる技術革新が進み、これから先百年どころか十年先も予測するのが難しい時代になっています。人工知能(AI)による生活の大きな変化も近づいています。

今あること、今当たり前だと思っていることが十年後には違っているかもしれません。

学校自体もこれから大きく変わります。平成32年に完全実施となる新学習指導要領への移行が平成30年度から始まります。この新学習指導要領はこれまでの学習指導要領と異なり、大きな変化を生むと考えられます。完全実施となる平成32年度には、センター試験に代わる新たな大学入試制度が始まります。知識量を問う試験から思考力や表現力等、これからの時代を生き抜くために必要な力を見極める試験へと変わると考えられています。そうなる当然小学校での教育も重点にすることが変わってきます。今回の改訂では知識の理解の質を高め資質・能力を育むために、①知識・技能②思考力・判断力・表現力等③学びに向かう力・人間性等の3本柱が重要だとされています。これからの時代に必要なICT活用力や外国語会話力等も力を入れることになります。

まずは、十年後の子供たちが必要な力とは何かを想像することが大切です。先を見据えて今何を学ぶべきか、本校は教員で議論を重ねるとともに皆様方のご意見も参考にしながら、新学習指導要領の目指す『生きる力』の実現に向けて着実に実行して参ります。

デジタル化された時代でのアナログの大切さを忘れず、身体と心をバランスよく鍛え、知恵と実行力を身につけさせ、教育目標である『だれもが笑顔になる学校』を目指して、この一年チャレンジし続けて参ります。ご理解ご協力を、どうぞよろしくお祈りします。